



えがお通信

2020年12月号
社会福祉法人 尚徳福祉会
おぐら保育園 園長 酒井和子



街のあちこちにクリスマスの飾りが見られるようになり、今年もあとひと月を残すのみとなりました。日中は暖かい日もありますが、朝晩は日増しに寒さが厳しくなり冬らしくなってきました。寒いとつい部屋の中で過ごしたいと思うのは大人の感覚で、子どもたちは外遊びが大好きです。そんな子どもたちは毎日、園庭を走って元気いっぱいです。

12月クリスマス、おもちつき、大掃除、年末の買い物など、楽しいことがいっぱいです。子どもたちにできるお手伝いをさせてみてはいかがでしょうか。そして「ありがとう」と声をかけてあげてください。子どもたちにとっておうちの方の役に立てたということは大きな喜びでもあり、自信につながることを思います。

12月の行事
7日(月) 避難訓練(火災)
16日(水) 0.1歳児内科健診
18日(金) 鏡餅作り
21日(月) 乳児誕生会
22日(火) 幼児誕生会
24日(木) クリスマス給食・バイキング
25日(金) 避難訓練(地震)
29日(金)～1月3日(水) 休園





乳児クラス

ボールや三輪車などくり返し遊んでいます。身体も柔軟にそしてたくましくなってきました。元気に遊ぶ子どもたちの姿は大人をも元気にしてくれますよね。ひとりでいろいろなことができるようになった子どもたちは、「自分でできる」ようになった達成感やうれしさから「みててね」と話にきます。



幼児クラス

運動会ごっこにバス遠足と盛りだくさんの2か月。たくさんの経験を通して、クラスの団結力が深まってきました。少しずつ寒くなってきたこともあって、ドッチボールに鬼ごっこなどみんなで身体を動かせる遊びがますます盛り上がっています。



第三者評価保護者アンケート

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。調査員による聞き取りや園の様子の見学も20日25日の二日間で無事に終わりました。結果については、2月頃を予定しているとのことです。わかり次第お知らせいたします。

絵本の貸し出し

タイムカードの横に、保護者の方に貸し出す本を置きました。是非、読んでいただけたらと思います。



☆食べる事は生きる力の源☆

子どもがすくすく育つには脳幹を鍛える。そのためには、五感を育てることが大事。現代は視覚、聴覚はテレビやゲームなどで鍛えられますが、嗅覚、味覚、触覚が衰えています。産まれたときから、見ること、触れること、匂いをかぐこと、噛むこと、味わうこと、これらは食事を通じた体験の中でより発達を促しています。日々、忙しいですが、大人も五感を感じながら子育てをしましょう♪



☆「風邪」と「インフルエンザ」の違い☆

風邪とインフルエンザの違いは、主にウイルスの種類と症状です。風邪は、アデノウイルス、ライノウイルス、RSウイルスなどが原因で、微熱・鼻や喉の痛み・くしゃみ・鼻水等が主な症状です。インフルエンザはインフルエンザウイルスが原因で起こる感染症です。40℃前後の高熱・悪寒・喉の痛み・咳・鼻水といった症状のほか、関節痛や筋肉痛を伴うのが、特徴です。早めに受診しましょう。

2020年も師走を迎え、無事に終えようとしておりますのも、ご家庭の温かいご理解とご協力があったからこそと、職員一同心より感謝いたしております。ありがとうございました。年末年始はご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えください。来年もよろしくお願いたします。

